

讃岐ジオパーク構想の人材育成について

讃岐ジオパーク構想推進準備委員会

1. 讃岐と備讃瀬戸のジオストーリー

- ①1億年前の花崗岩の形成
 - ・マサ土の土砂災害
 - ・白砂青松の砂浜
- ②1400万年前の瀬戸内火山活動
 - ・おむすび山(島)とペタンコ山(島)の造形美
 - ・石の文化(サヌカイト等)
- ③300万年前からの中央構造線の右横ずれ断層運動
 - ・讃岐山脈の隆起と水不足の讃岐平野(扇状地)
 - ・瀬戸内海の形成

3. 人材育成の全体計画

香川大学長谷川修一特任教授は、「讃岐ジオパーク」認定を目指して、2010年度から香川大学公開講座を開講し、人材を発掘、育成を行っている。2019年度には受講者有志によって「讃岐ジオパーク構想推進準備委員会」が設立され、ボトムアップの活動を実施中である。

2. 讃岐と備讃瀬戸の世界的価値

- 讃岐平野と備讃瀬戸の造形美

瀬戸内火山活動とその後侵食で形成されたおむすび山とペタンコ山の造形美
- 大陸地殻のでき方の鍵をにぎるマントル直結安山岩

約1400万年前に沈み込んだ熱いフィリピン海プレートが直接溶解したマグマから形成された瀬戸内火山岩類

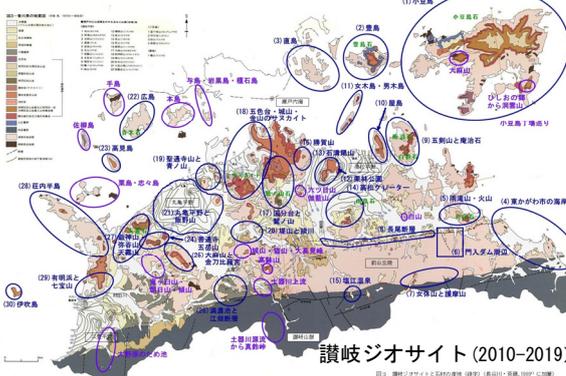


●旧石器時代から現代まで続く多様な石の文化



4. 香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」(2010年度～)

香川県内のジオサイトを探訪し、ジオサイトの魅力を発信するとともに、同志の輪を広げる活動を続けている。初年度(2010年度)は11名で開始した講座も、今では定員30名満席の人気講座になっている。



5. 香川大学公開講座「讃岐ジオサイト探訪」(2014,2015年度)

讃岐ジオサイトのうち16地点を選定し、大地の成り立ちに加え、植物・生態系、さらには歴史・文化・産業などの成り立ちを探究した。



(大地と生態系と歴史一覧表：屋島)

6. 香川大学公開講座「讃岐ジオガイド養成講座」(2016年度～)

香川県内のジオサイトを案内するジオガイドを養成するために、ジオガイドに必要な専門的な知識の共有、ガイド技術の向上、リスクマネジメント等を学んでいる。



リスクマネジメント研修 伝えるコミュニケーションWS ジオツアー計画

8. 讃岐ジオガイドによるジオツアー

2021年度から、讃岐ジオガイドが香川大学公開講座で勉強した場所を再構築して、地元住民を案内するジオツアーが始まった。(香川県交流推進部観光振興課発刊で通信に掲載)。
開催場所: 雨滝山(さぬき市)、五剣山(高松市:五剣山の峰が4つしかないのはなぜか?)、飯野山(丸亀市:さぬき富士の美しさの秘密を探る)、肥土荘(土庄町:製塩文化(塩田)と稲作文化)



7. 香川大学公開講座「ジオガイドが案内する讃岐ジオサイト探訪」(2019年度～)

講義・現地見学に60時間以上出席していることを条件に認定された「讃岐ジオガイド」20名が、実際に受講生を案内している。



9. 山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク主催「みんなの発表会」での取り組み紹介

讃岐ジオガイド(中讃地区)は、山陰海岸ユネスコ世界ジオパーク主催「みんなの発表会」(2021年1月24日(日))で、公開講座の内容を基にして、丸亀市飯山南の米作りと断層の関係を紹介し、県外に讃岐ジオパーク構想をアピールした。

